

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児者デイサービス笑夢		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日 ～ 2026年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日 ～ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様や家族の幅広いニーズに職員が誠実に対応しており、寄り添った関わり方をしている	・朝礼などの時間を利用して、ご家族様とのLINEのやり取りや送迎時の情報共有をこまめに行っている ・職員それぞれの関わり方を他の職員へもフィードバックしている	・利用者様ごとの情報の適宜修正を行い、最新の情報を職員で周知して関わっていく ・職員のスキルアップ、コミュニケーションの充実 ・ご家族様からの要望を職員全体で考えて対策をしていく
2	多職種がいるなかで連携を取りながら仕事をしている。また、ご利用者様の環境に配慮して職員全体で行動している	・それぞれの視点で利用者様と関わっており、その気づきを共有している ・状況を的確に把握し、声を掛け合いながら仕事を行っている ・安全なスペース確保のために療育スペースの整頓を行っている	・業務全体の振り返る時間、気づきなどの情報共有する時間の確保 ・タイムスケジュールを把握しながら職員全員が動けるようになること
3	年間スケジュールに基づいた療育プログラムの展開、企画の実施をしている	・ご利用者様の人数に合わせながらの活動を考えて対応している ・職員で療育についての打合せをしたり、活動内容を月ごとに利用者様のご家族にお知らせしている	・療育内容が重なってしまうことがあるため、流行なども取り入れながら新しい企画を増やしていきたい ・職員全体で余裕をもった活動内容の周知や準備を進めていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用人数やケア内容によって職員不足を感じる。手厚い対応が困難な場合や活動も円滑に行えていない。	・利用者様が多いときの活動の進め方、療育中の職員の役割分担 ・帰宅準備が並行して行われていくため、タイムスケジュール通りにいかない	・職種ごとの役割の意識づけや療育中の担当を決めて動く ・利用者様のケア内容や送迎ルートに合わせて優先順位を考えながら声を掛け合って動いていく ・帰宅準備の終わって待っている利用者様への対応も出来るようにする
2	気づいたことや注意すべき部分の共有不足や利用者さんの情報を紙面での更新が出来ていない	・職種の垣根を超えた情報交換や意見の出し合いが出来ていない ・その場での口頭の伝達が多くなっている	・研修や自己学習で得た情報の共有、更新をしていく ・業務日誌での情報伝達も行いながら、紙面での利用者様の情報更新も素早く行い、すぐに確認出来る状態を作る
3	見やすい療育関連の物品の整理スペースが少ない。その他の物品の管理場所がわかりにくい	・収納スペースが少ない ・様々な場所に収納しており、把握できていない職員もいる ・目的ごとに細かく収納スペースを分けていない	・誰もが見てわかるような見出しをつける ・収納する場所を目的ごとに分けて、誰もがわかるようにしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型重症児者デイサービス笑夢

公表日 2026年4月1日

利用児童数 13名

回収数 9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	☐	☐				ご利用人数が多い場合でも、活動が出来るようにスペースの確保をしています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	☐					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	☐	☐		☐		入り口をスロープへ改築しました
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	☐					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	☐					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	☐	☐				療育内容については、活動の目的も合わせて保護者様に毎月お知らせをしています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	☐	☐				学校やご利用中の様子、家での様子を面談の時に確認しながら計画を作成しています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	☐	☐				個別支援計画の面談時に支援内容について説明しております
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	☐					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	☐					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	☐	☐	☐	☐		お出かけや他事業所のイベントに参加させていただき、他のお子様と活動する機会がありました
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	☐					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	☐					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	☐			☐	時々、保護者も参加できる研修会などのお知らせが来るのでいつかタイミングが合えば参加したいです	研修については、ご家族様も参加できるものはお知らせをしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	☐				児童の様子記録を毎利用時に発信してくれるので、時間ごとの状況の変化等がわかりやすい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	☐					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	☐					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	☐	☐	☐			不定期ではありますが、保護者会を開催し、交流できる場を設けています
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	☐			☐		ご家族からの相談はLINEで速やかに対応しております

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○	○				定期的にFacebook、Instagram、Threadsで活動の様子を発信しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○	○		○	ごまめに避難訓練が行われているのなので安心しています	マニュアル作成と定期的な避難訓練の実施をしています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○			○		実施した訓練については、通信でお知らせしています。利用の少ない方への周知もしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○	○		○		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○			○		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				いつも楽しそうな表情で家を出発し、帰宅時も満足したような笑顔で帰ってきます	利用者様が、安心して楽しく過ごせる環境づくりに勤めています
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型重症児者デイサービス 笑夢		2026年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	○	ベッドを利用したスペースの確保やご利用人数に合わせたスペースの確保をスタッフで考えて実施しています	ご利用人数が多い時に移動スペースが狭く時間がかかってしまっている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		温度、湿度の環境調整に気を配り、快適に過ごせる空間作りをしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の案内を多く提示しており、スタッフの気になった研修へ参加できるようにしています。またスタッフ同士で研修情報を共有しています	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		イベント参加や様々な体験が出来るように機会の提供をしています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	他事業所のイベントへの参加をしています	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	不定期ではありますが、保護者会の実施しています。ご家族の方も参加できる研修のお知らせもしています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	地域のイベントの参加をしています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			